

「口ナ禪の財政「平時」」

「骨太」原案 社会保障減懸念も

投資なし長期の施策が念頭にあらわれる。

ただ、「動的見通し」「多年度」といった考え方、財政規律を継めるリスクをはらむ。政府は将来の景気や歳出削減の進み具合を検証する。財政のあり方や次の目標をより設定するかな。

財政健全化目標の25年度が迫る中、政府は24年度に財政再建派と積極派で議論が激しくなるのは確実である。あとで「国民戻税」だ。また色々な枠組みを検討し

うだ。

政府が7日に示した「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」の原案

で、中期的な財政構組みについて策定の方向性が盛り込まれた。岸田政権は防衛や少子化など歳出増につながる政策を次々と打ち出しがちをはじめ、財政の立て直しが課題となる。

原案には、一人あたりの医療費の地域差を減らすため地域によって異なる医療の手法を適応化するほか、保険利用料やショネリック医薬品（後発品）が出ていた。このほか、新型コロナウ

イルスの「5類」移行に伴い、地方を含め「歳出構造を平時に戻していく」と明記。経済財政諮問会議の民間議員が廃止を求めた

政規律を平時に戻していく

が、コロナ禍で緩んだ財政規律を平時に戻していく

ことをはじめ、財政の立て直しが課題となる。

原案には、一人あたりの医療費の地域差を減らすため地域によって異なる医療の手法を適応化するほか、保険利用料やショネリック医薬品（後発品）が出ていた。このほか、新型コロナウ

「地域医療や介護の現場は非常に厳しい。人件費も増えています」

5月末の自由党の会議で、政府側が骨太の方針を

▼1面参照

ただ、「動的見通し」「多年度」といった考え方、財政規律を継めるリスクをはらむ。政府は将来の景気や歳出削減の進み具合を検証する。財政のあり方や次の目標をより設定するかな。
財政再建派と積極派で議論が激しくなるのは確実である。あとで「国民戻税」だ。また色々な枠組みを検討しうだ。
(北川慶一)

■「骨太の方針」原案の主な内容
マクロ経済運営の基本的考え方

・日本銀行には賃金の上昇を伴う形で2%の物価安定の目標を持続的・安定的に実現することを期待する

新しい資本主義の加速

- ・A.I.（人工知能）へのリスク対応を進めるとともに開拓力強化を図る
- ・少子化や子育て対策の抜本的な強化を図る日本を取り巻く環境変化への対応
- ・2027年度までの5年間で防衛力を抜本的に強化する
- ・輸入依存度の高い食料の国内生産力を高める中長期の経済財政運営
- ・多年度にわたる計画的な投資については財源も一括的に検討し、歳出と歳入を多年度でバランスさせる
- ・全ての世代で能力に応じて負担し支え合う社会保障の実現に向けた工程を具体化する

原案では、「多年度にわたる計画的な投資は、歳出と歳入を多年度でバランスさせる」との記述が新たに追加された。脱炭素化(GX)

6/18

防衛増税「25年以降」自此特命委員会

防衛費を増やすための財源を、増税以外で捻出する方策を検討してきた国民党の特命委員会（歴生田光）は、27日、政府への提言書をまとめた。当初の意図込みと比べて控えめな内容となりましたが、増税時期について「2025年以降のしかるべき時期」との文言を入れた。政府の

「経済財政運営」改革の基本方針（骨太の方針）」にひつ反照されるがが今後の焦點となる。

政府は昨年末、法人税、所得税、たみり税を増税して防衛費の一部である方策を列挙。税率が上がれば、防衛費は確かに増加するが、同時に、税率が上がると、企業の収益が減る。これが、企業の生産意欲を下げる結果となる。

関係者によると、提言書はあくまで増税以外の財源確保に焦点を置いていたが、骨太の方針では、防衛費の増額を実現するためには、依然として増税が必要である。この点で、提言書は慎重な書きぶりに強い意欲を示していたが、24年度までの実現可能性を考慮した上で、骨太の方針に沿って改めて、防衛費の増額を実現するためには、依然として増税が必要である。

政府は、増税△歳出改革の実現手続を経て、岸田文雄首相に提出される。提言をあきらめ、骨太の方針に増税の時期がどのよくな表現で盛り込まれるか注目される。（鷹井貴平、松山尚幹）

つ理由の薄れこる様式としてNTT株を挙げ、政府保有分をすぐと売却するとの検討も求めた。

その上で、増税の実施時期を「25年以降のしかもべき時期」の柔軟な判断を可能とするほか、税制措置以外の財源をいかに確保する」ことが必要」として、

24年度中の増税見送りを認める旨を記載した。特命委員会は当初、増税以外の財源確保策を見つける強い意欲を示していたが、提言書は慎重な書きぶりになつた。防衛費の増額を実現するための財源確保法が国会で審議中で、今期末が迫るなりでいる。

骨太の方針では、「かねて抑制的な議論がありだ。法案審議が残っているから慎重にやつてじるのだから」。別の議員は「首相の顔を立てたと云ふ」といふ。提言書は党の「うまい」。提言書は党内の議論手続を経て、岸田文雄首相に提出される。

▽決算剰余金の活用△防衛力強化資金——の四つの手法で防衛費の財源をまかなう方針。同法案は「の方針